



碧南生まれの もう一人の大名・水野勝成

碧南生まれで大活躍をして、茨城の古河で7万2千石の大名となった永井直勝の話は、このコラムでもたびたび取り上げてきました。

実は碧南生まれで永井直勝と同時代に生きて、徳川家康の天下取りに大きく貢献した人物がもう一人いるのです。その人物は水野勝成です。

勝成は、碧南の鷲塚城で1564年に生まれ、その後、1601年に3万石の初代刈谷藩主、1615年に6万石の大和郡山藩主、1619年に10万石の初代福山藩主となっています。勝成は、1651年、87歳で大往生し、徳川28神将の1人として日光東照宮にまつられています。

水野勝成は、徳川家康とはいとこの同士の間柄です。勝成は、三河の刈谷城主であった水野忠政の九男にあ

たる水野忠重（1541年～1600年）の子として、碧南の鷲塚で生まれています。家康の母親である於大の方は、勝成の父親の姉にあたります。

父親の忠重は、織田信長方についた長男で刈谷城主であった信元と不和となり、徳川家康に仕え、鷲塚の地を与えられ、1562年、21歳のときに自ら築城して、1563年に発生した三河一向一揆の鎮圧に大きな功績を上げました。

その後、刈谷城主であった兄・信元が武田信玄との関係を疑われ、織田信長に1575年に廃された後、1580年、忠重とその子勝成は、信長によって刈谷城主として呼び戻されました。その結果、同年、鷲塚城は廃城となりました。勝成16歳のときでありました。

余談ですが、勝成は超有名な剣豪、宮本武蔵とも深い親交があったとされています。事実、1615年、勝成51歳、武蔵31歳のとき、大阪夏の陣で、徳川方の勝成の客将として、武蔵は勝成の嫡男・勝重の守護役を努めています。

このように、お隣の刈谷の初代藩主となった水野勝成は、碧南の鷲塚の地に生まれ、16歳まで碧南にいたのです。歴史っておもしろいですね。

勝成が住んでいた鷲塚城は、現在、碧南市の城山町の城山公園の近くにありました。興味のある方は、一度訪れてみてください。

てらまちウォーキング 歩行者天国出店者募集

歩行者天国となる道路上で行う「てらまちマーケット」の出店者を募集します。出店費は無料です。

とき 10月19日(日) 9時30分～13時

ところ 藤井達吉現代美術館前～湊橋手前の道路上

区画 幅2m×奥行2m
※食品衛生の関係法令を遵守してください。また、公序良俗に反する物は販売できません。

申込み 商工課商工係



メタルズ！ー変容する金属の美ー

素材は造形の重要な要素です。金属「メタル」もその1つであり、日本でも古代から金属を素材とするさまざまな造形が生み出されました。

本展では古代・中世の出土品、伝世品から近現代の美術工芸品に至るまでさまざまな金属造形、金属工芸の名品約100点をご紹介します。

とき 9月11日(木)～10月19日(日) 10時～18時（入場は17時30分まで）

休館日 月曜日（9月15日(月)、10月13日(月)は開館し、9月16日(火)、10月14日(火)は休館）

ところ 藤井達吉現代美術館

料金 一般 800円、高校・大学生 500円、小中学生 300円

●次の人は無料で観覧できます。
受付で証明書を提示してください。

未就学児、市内在住・在学の小中学生・高校生、市内在住の65歳以上の人、各種障害者手帳を持つ人と付添者1人

問合せ 藤井達吉現代美術館 ☎(48)6602



△毛利教武《手》